



城南中だより

学校教育目標
希望と愛をはぐくむ
美と活力の学校

4 月 号 令和 8 年 4 月 8 日 発行 第 1 号

〒339-0034 さいたま市岩槻区笹久保577 <https://jounan-j.saitama-city.ed.jp/>
Tel 048-798-0007 さわやか相談室直通 048-797-0514

春告げ鳥 ウグイスと、誇らしく花開いた城南桜に迎えられて令和8年度が始まりました。この郷さとでおだやかに新年度がスタートしたことを嬉しく思います。

1年生と保護者の皆様、入学おめでとうございます。2年生、3年生と保護者の皆様、進級おめでとうございます。

令和8年度の始まりです

校長 吉原 誠 士

さて、スタートを切るにあたって本校の学校教育目標を改めて解説してみましよう。今年は具体的な方向性を示すために「常に『思考』を大切に、『創造』と『進化』を続ける魅力ある学校」を強調しています。この内「思考」の意味は説明するまでもないでしょう。「創造」は何かを新たに生み出すこと、創り出すことです。百年以上も前から、ご先祖様にあたる人たちが必死に「考え」、「創り出す」努力を続けた結果、私たちは豊かで便利な生活をおくれています。当時の人たちは「思考」と「創造」をくり返して世の「進歩」に尽くし、同時に自分自身を「進化」させてきたのです。脳をフル回転させ、実際に手を動かしながら自分を変えてきたのです。

ところが、現在「思考」を放棄することが心配されるようになりました。何もかも「AI」に任せればうまくいくと信じる傾向が強くなったのです。しかし人間が考えなくてもよいと言っているわけではありません。「人間とはどのような生き物か」との問いへの一つの答えは「多様で深い思考が可能な生物である」です。これを忘れずにいることは新たな時代への「希望」になるでしょう。そもそもAIは人間によって創り出され、人間の脳の活動を研究しながら進化してきたのです。AIを乗り越える人間になるのは決して過大な要求ではありません。城南中学校では思考を支えるためにたくさん憶え、それを使ってたくさん考える機会を設けて「希望」を支えます。

もう一つ、「人間とはどのような生き物か」・・・それは機械にはない「心を持つ」点です。私たちは人間同士、あらゆる自然の事物、あるいは物とまで優しく接することができます。これは「愛」をもって関わる、とも表現できます。「愛」のある人間を養成するには、たくさんの人々との会話・対話、気持ちの交流などが行われることが欠かせません。城南中学校では授業だけでなく、学校行事、班活動や委員会活動、部活動など、ふれあいの機会、直接体験の機会を多く設定しています。「愛」を育てられるような環境を整えているとも言えます。

「学校教育目標」は「希望と愛をはぐくむ 美と活力の学校」から始まります。この一文は、上で述べたような「希望」と「愛」に関わる活動が行われることを指します。そして、その結果、「美しい心」「美しい行動」が生まれ、「美しい学校」「美しい人間性」に結びつきます。さらに学校生活すべての場面で生き生きと過ごす、これこそが「活力」です。特に「元気なあいさつ」で始めれば「活力」にあふれる一日になるでしょう。「希望と愛をはぐくむ美と活力の学校 ～ 常に『思考』を大切に、『創造』と『進化』を続ける魅力ある学校 ～」を目指して、生徒も、教職員も、一緒に頑張りましょう。地域、家庭の皆様におかれましては、これまで同様のご理解とご協力、より一層の応援をくださるようお願いいたします。